

資料2

令和2年10月29日（木）
デジタルアーカイブWG
国立国会図書館説明資料

ジャパンサーチ正式版公開後の状況報告

国立国会図書館

ジャパンサーチ正式版の機能（★は正式版の新機能）

● 検索機能

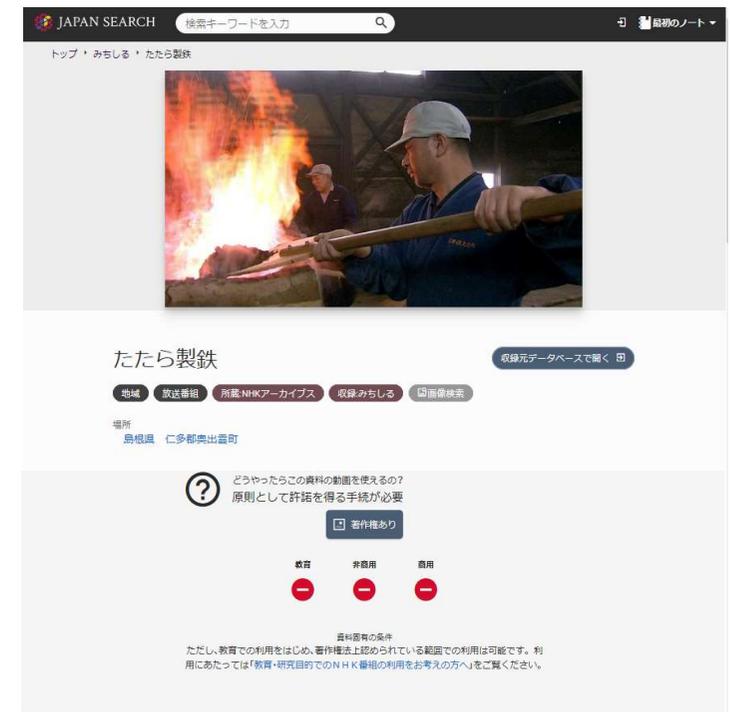
- 横断検索（メタデータのローマ字読みの自動生成、検索キーワードの自動翻訳機能を実装）
- テーマ別検索
- 画像検索

● ギャラリー

- 219点を公開（2020年10月20日時点）
- ジャパンサーチトップページにギャラリーUIを追加
- ギャラリーをタグで自動整理可能に

● 利活用機能

- API（★正式版ではSPARQL Endpoint を活用して検索結果詳細ページに関連アイテムを表示）
- ウェブパーツ
- マイノート
（★正式版では機能を拡充し、ギャラリーと同レベルの作品が作成可能に）
- ★プロジェクト
- ★ワークスペース



（今後の開発予定）

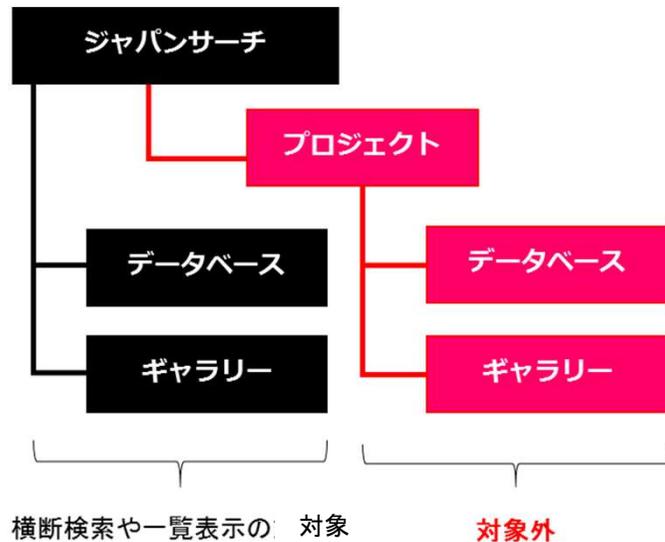
- 一般ユーザがテーマ別検索式を作成できる「マイサーチ機能」の追加
- 地図及びタイムラインの検索と結果表示機能の追加
- 統計機能の改善



(※いずれも連携機能のみ作成可能)

プロジェクト機能

- プロジェクト=任意のメンバーで構成される組織
- プロジェクト上では、データベースの公開、ギャラリーやワークスペースページの作成等、**ジャパンサーチ上で連携機能ができる作業が一通りできる**
- プロジェクトの成果物を**ジャパンサーチ上で一般公開**することも、**限られたメンバーだけで共有**することも可能
- ただし、プロジェクト上のデータはジャパンサーチの**横断検索や一覧表示の対象外**



ワークスペース機能

- URLとパスワードを知っている人であれば**誰でも**アクセスできるページ
- **複数人**でマイノート・ギャラリーを**同時に**編集できる
- 成果物は、連携機能がジャパンサーチ上で公開可能 or ウェブパーツ機能でエクスポートも可能

ログイン中のユーザの一覧

ユーザが作業している箇所を色で表示

プロジェクト・ワークスペース機能を用いた利活用拡大に向けて

□ 教育

- 初等中等教育でのキュレーション授業でワークスペースを活用
→学習指導要領で掲げられたICT・MLA資料の活用や探究的な学びを実現へ
 - 大井 将生, 渡邊 英徳. ジャパンサーチを活用したハイブリッド型キュレーション授業:遠隔教育の課題を解決するデジタルアーカイブの活用. デジタルアーカイブ学会誌, 4巻, s1号, pp.69-72 (2020-10)
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsda/4/s1/4_s69/pdf/-char/ja

□ 学術・研究

- 大学の授業・ゼミでの学習用ツール、学芸員課程でのキュレーション実践等での活用
- 共同研究ツール（デジタルアーカイブのコンテンツと研究成果の結び付け等）としての活用

□ 地域活性化

- 地域課題解決のため、ジャパンサーチ上の地域に関連する情報・データをまとめるツールとしての活用
 - 10/31（土）、12/5（土）「2020UDC京都 in NDL関西館 ジャパンサーチ・タウン」（オンライン開催）
<https://udc-kyoto.comnpass.com/event/191672/>

□ その他

- エディタソン・アイデアソン・ワークショップイベント等に利用

提案：連携機関に属さないユーザでもプロジェクト・ワークスペース機能を利用できるようにするため、ジャパンサーチ上の連携機関として「実務者検討委員会」の組織を登録し、その下位に、それぞれの事例ごとにプロジェクトを作成しアカウントを払い出すこととしたい

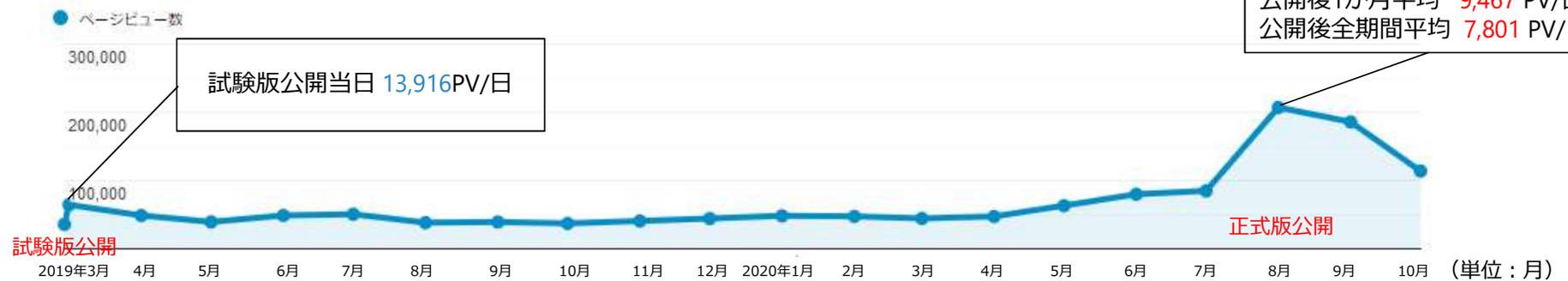
⇒別添①「Google Analyticsレポート」【机上配布】参照

アクセス状況 (試験版 (2019/2/27-2020/8/24) と正式版 (2020/8/25-2020/10/20) の比較)

※数値はGoogle Analyticsによる

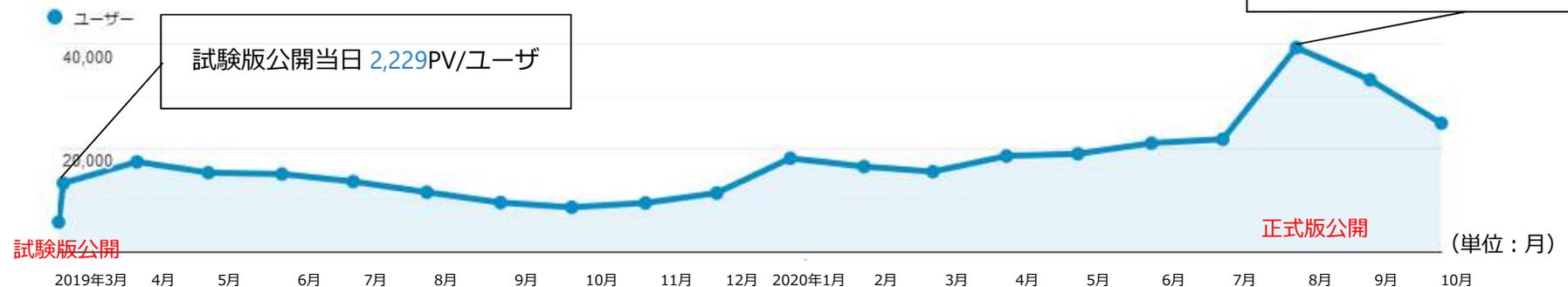
- 1日当たり平均ページビュー数 **1,790PV** ⇒ **7,801PV** (約4.4倍)

(月単位のページビュー数の遷移)



- 1日当たり平均ユーザ数 **467ユーザ** ⇒ **1,387ユーザ** (約3倍)

(月単位のユーザ数の遷移)



⇒別添①「Google Analyticsレポート」【机上配布】参照

アクセス状況（試験版（2019/2/27-2020/8/24）と正式版（2020/8/25-2020/10/20）の比較）

※数値はGoogle Analyticsによる

• 平均セッション時間 **2分31秒** ⇒ **3分41秒**

• 平均直帰率 **65.60%** ⇒ **62.27%**

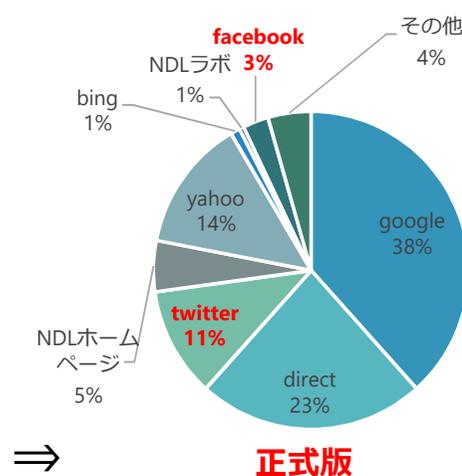
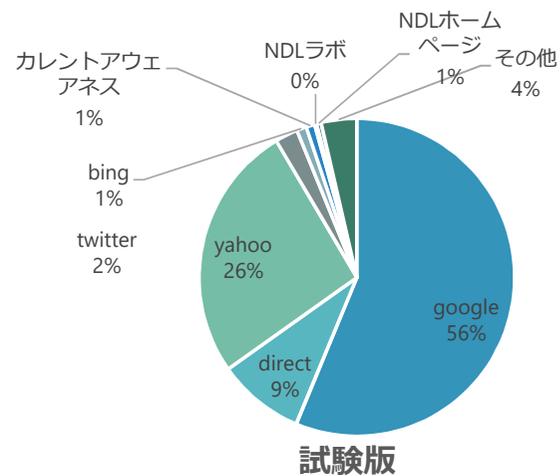
※全セッションのうち、1ページだけ見て帰ったセッションが占める割合

• 海外からのアクセス

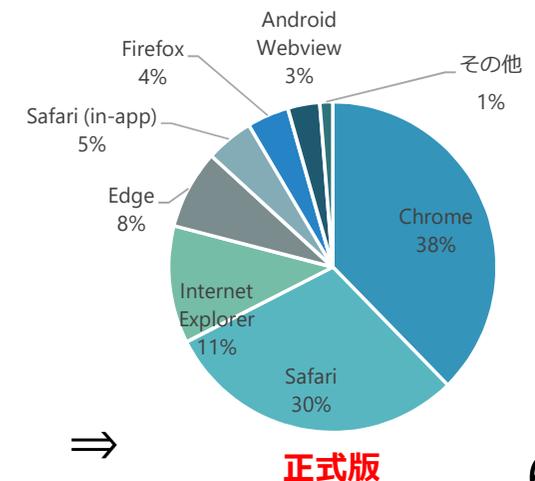
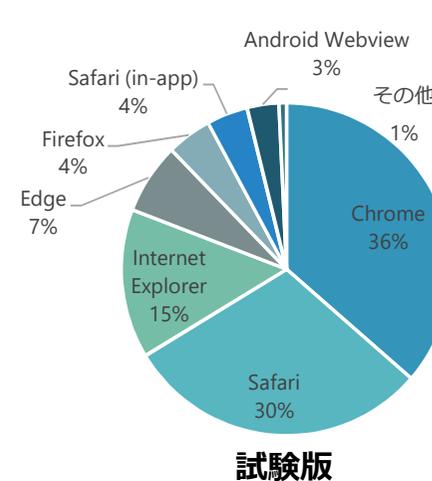
131か国 12,455ユーザ（23ユーザ/日） ⇒ **100か国 5,280ユーザ（94ユーザ/日）**

米国、台湾、韓国、中国 etc.

• 参照元



• ブラウザ



フィードバック内容（正式版公開後から2020年10月20日まで）

● 主な改善要望

（一般ユーザ）

- ・ システムのソースや設計に関する情報の一般公開
- ・ UI・メタデータの多言語対応
- ・ ジャパンサーチ側でデータを変換・マッピングした情報を連携機関に還元
⇒正式版公開時にジャパンサーチの「開発者向け情報」ページにソースデータのマッピング例を掲載済
https://jpsearch.go.jp/static/developer/property_simple/ja.html
- ・ ジャパンサーチの意義・役割・機能についてPRの強化
- ・ ジャパンサーチについて分かりやすいパンフレット・利用方法マニュアルが欲しい
- ・ 全データの横断検索画面をトップページに置いて欲しい

（連携機関から）

- ・ 検索結果の各アイテムの「所蔵機関」「つなぎ役」の表示方法の検討・改善
（データ作成機関と実際の所蔵者が異なる場合の表示の問題）
- ・ ジャパンサーチのアクセスログを入手したい（ダッシュボード機能）

● ユーザアンケートを実施予定（11月前半）

● その他（お問合せフォームからの問合せ）

- ・ 出版・放送目的でのコンテンツ利用に関する問合せが増加



連携状況

⇒別添②「ジャパンサーチ連携候補」【机上配布】参照

- 25連携（つなぎ役）機関、112データベース、メタデータ約2,130万件（2020年10月20日現在）
※正式版公開時（8月25日時点）から、2連携（つなぎ役）機関、4データベース追加（網掛け部分）

分野	連携機関（つなぎ役）	データベース名
書籍等	国立国会図書館	「国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）」から、13件のデータベース
公文書	国立公文書館	「国立公文書館デジタルアーカイブ」
文化財	文化庁	「文化遺産オンライン」から、国指定文化財等データベース
	国立文化財機構	「ColBase 国立博物館所蔵品統合検索システム」
美術・映画	国立美術館	「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」「アートコモンズ」「映像でみる明治の日本」「日本アニメーション映画クラシックス」「所蔵映画フィルム検索システム」
美術	一般社団法人 全国美術館会議	「愛知県美術館コレクション」「東京富士美術館収蔵品データベース」
	日本写真保存センター	「写真原板データベース」
メディア芸術	映像産業振興機構	「Japan Content Catalog」から、3件のデータベース
舞台芸術	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	「演劇情報総合データベース」から、3件のデータベース
自然史・理工学	国立科学博物館	「サイエンスミュージアムネット（S-Net）」「魚類写真資料データベース」
	南方熊楠顕彰館	「南方熊楠織錦絵コレクション楠邸資料：蔵書、標本、文書」
	東京農工大学科学博物館	「蚕織錦絵コレクション」
地図	国土地理院	「古地図コレクション」
人文学	人間文化研究機構	「人間文化研究機構統合検索システム nihuINT」から、43件のデータベース
	立命館大学アート・リサーチセンター	「ARC浮世絵ポータルデータベース」「ARC古典籍ポータルデータベース」「ARC番付ポータルデータベース」
	公益財団法人 渋沢栄一記念財団	「デジタル版「実験論語処世談」/渋沢栄一」
学術資産	東京大学	「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」
	京都大学総合博物館	「京都大学研究資源アーカイブ」から3件のデータベース
放送番組	放送番組センター	「放送ライブラリー公開番組データベース（ドラマ）」
	日本放送協会	「動画で見るニッポンみちしる」
公共データ	総務省・内閣官房IT総合戦略室	「データカタログサイト」
地域	新潟大学	「にいがた地域映像アーカイブデータベース」
	県立長野図書館	「信州デジタルコモンズ」から、2件のデータベース
	三重県	「三重の歴史・文化デジタルアーカイブ」から、19件のデータベース
	和歌山県立文書館	「和歌山県歴史資料アーカイブ」